

新年あけましておめでとうございます

2022年が始まりました。冬休みはゆっくりと過ごせたいでしょうか。日本海側は大雪が降り、コロナに至ってはオミクロン株の感染が広がりを見せようとしています。みなさんもこれまでの感染予防をしっかりと守って行動するようにしましょう。

それにしても月日がたつのは早いもので、みなさんも今年の中3生になります。いよいよ進路について考えていかなければいけません。そこで、この3学期は中3に向けて進路学習を進めていきます。自分の長所や短所を見つめなおしたり、職業について考えたり、高校について学んだりします。ぜひこの機会を大事にして、自分の進路選択についてしっかり考えられる準備を整えましょう。



☆ 2学期 学年集会を終えて ☆

2学期学年集会は、後期学級委員が進行のみならず、その形式自体も考え取り組みましたね。その様子から、学級委員はもちろん、その指示に従ってきびきびと行動できるみなさんを見て、本当に成長しているなあと感じました。今後もみなさんで考え行動できる姿勢を涵養していきましょう。

さてそのときに、クラスの反省がありました。そしてそれを受けて、その改善のために、自分たちで考えた具体的な取り組みを発表しましたね。（少し行き過ぎたものもありましたが。）それについて学級委員会で話しあい、決まった取り組みが以下の通りです。しっかり取り組んで改善できるようにしましょう。

- 1c 前の日の終礼で次の日の必要事項（提出物やテスト、持ち物）を日直が発表する。
- 2c チャイム着席名指し → 1日に全体で3回以上だったら放課後全員で掃除
- 3c Try Japanese を忘れた人にペナルティ
1回目 忘れた人の名前をいう。 2回目 警告 3回目 居残り
- 4c 授業中に注意された数をカウントし、通常ではしない場所の清掃活動
- 5c 3cと同じ取り組み

上記の取り組みは1月11日より開始します。みなさん、気合をいれて取り組みましょう。

*ただし、考えていかなければいけないこともあります。

- ①掃除がペナルティ的なものとして扱われていますが、掃除はそもそもペナルティなのか？掃除をペナルティと考えることは…
- ②そもそもできてあたりまえのこと。それをこのようにしてまでやらないとできない現状について…

みなさんで考えたことですので、できるかぎり応援したいと思いますが、今後このようなことに取り組むときには覚えておきましょう。

☆気になった新聞記事を紹介☆

新春スペシャル

まなび場 天声人語

みんなで挑む 高め合う

天声人語を題材に学びを促める「まなび場 天声人語」。その中の「見出し講座」には、毎回多くの方から投稿が寄せられています。学年やクラス単位で挑戦している学校に、取り組みの様子をたずねました。(矢島由希子)

いろいろな視点 ビジネスにも

東京都立第一商業高2年
初回の昨年7月の見出し講座「東京都立第一商業高」の授業風景が、2021年11月29日、さいたま市南区、井手さゆり撮影



自分でも考えた見出しについて、グループに分かれて話し合う生徒たちと甘菜和義教諭©2021年11月29日、さいたま市南区、井手さゆり撮影

見出し

「見出し講座」は、毎回の授業で、生徒が自分たちで考えた見出しを発表し、先生やクラスメイトから意見をもらいます。その中で、生徒は「見出し」の重要性や、読者の興味を引くポイントなどを学びます。

クラスで磨こう 語句と表現

埼玉大教育学部附属中2年
「見出し講座」は、毎回の授業で、生徒が自分たちで考えた見出しを発表し、先生やクラスメイトから意見をもらいます。その中で、生徒は「見出し」の重要性や、読者の興味を引くポイントなどを学びます。



教科書の話 新聞でなるほど!

大分県佐伯市立鶴岡小学校
教科書の内容を新聞で学ぶことで、生徒はより深く理解し、表現力も向上させます。



正しい読解か・引きつける言い回しか… 選考会では

毎月1回の選考会では、講師「イネ！」を担当する野村周・コンテンツ編集長が、朝日新聞の編集者から、投稿の中から選ばれた見出しを審査し、最優秀の見出しを選出します。

天声人語

「天声人語」は、天声人語対抗形式で発行「英語講座」(第1月号)、「進歩の天声人語」(第3月号)、「見出し講座」(第4月号)です。

英語

「カカマの500語」(11月14日付)を訳した「Imitation crab builds a global following despite its humble origin」など、朝日新聞の英語ニュースサイト「The Asahi Shimbun Asia & Japan Watch」から英語表現を学びます。

上記はこの冬休み中の新聞の記事です。全国の中高等学校でも、中宮中で取り組んでいる“Try Japanese”のような取り組みを進めているところがあるそうです。大学入試対策(小論文対策)としても有効な取り組みとしてやっているみたいですね。みなさんも高校入試を控えて、文章の内容を理解し、そしてその上で自分の意見を書いていくという力は必要不可欠なものです。今年もしっかり頑張りましょう。